

新潟水俣病関連情報発信事業の最近の取組

■新潟水俣病情報発信事業

新潟水俣病の教訓を県民に広く普及啓発するため、民間団体等が提案する新潟水俣病の教訓の情報発信を行う事業に対し、補助を実施します。

【H29 年度】

- 3 団体 3 事業に補助（公募）

〔補助事業〕

- 新潟大学

「新潟水俣病の教訓を伝える人材育成プログラム」

連続講座と現地学習を組み合わせることで、学生の新潟水俣病問題に関するリアルな問題意識を涵養し、同問題への主体的・自主的な学習を促す。特に今年度は新聞社と協力し、学生が学んだ内容等を紙面にて発表することで、広く県民に情報発信を行う。

- ・ 10 月から 11 月にかけて、講義、阿賀野川流域現地学習、水俣市訪問及び報告会を実施



（講義、阿賀野川流域現地学習の様子）

- 新潟県立大学

「新潟水俣病情報発信の高度推進」

世代を越えて新潟水俣病を語り継ぐための研究と教育を通じた人材育成のため、水俣病について学ぶフィールドワークを取り入れた授業を行う。

学生や地域住民が自主的かつ自然に新潟水俣病に関する知識を修得し、また、阿賀野川流域及び新潟が持つ・持っていた「豊かさ」を実感できるよう、継続的な学習や、学祭企画、ワークショップ等を実施する。

- ・ 水俣市への訪問及び報告会を実施
- ・ 阿賀野川流域にて現地学習を実施
- ・ 大学祭における展示発表を実施
- ・ 記録集の作成、発行を予定

○ 新潟医療福祉大学

「新潟水俣病と共に生きる社会づくり推進事業

一次世代を担う学生（ＱＯＬサポーター）の育成」

学生による患者支援と地域で新潟水俣病患者を支える社会づくりに向けた地域貢献活動の基盤づくりを行う。

患者と学生との交流活動や健康教室の実施、また、平成 30 年度から「新潟水俣病学」のカリキュラム化を予定していることから、患者の方々の主観的体験の事実の聴き取りをとおして「語り」の記録化に向けた取組に着手する。

- ・ 水俣病患者との座談会及び足湯を用いた健康教室を実施
- ・ 水俣病患者からの主観的体験の聴き取り
- ・ 水俣市での現地学習を実施
- ・ 取組の成果を広く県民へ発信するため、事業報告会の開催、事業報告書の作成を予定

(参考)

【H25 年度】

○ 3 団体 3 事業に補助（公募）

〔補助事業〕

○新潟大学

「新潟水俣病の教訓を伝える人材育成プログラム」

新潟水俣病を正しく理解し関心をもつ一助とするため、学生を対象とする連続講座を開催。新潟水俣

病の教訓を伝える。

- ・ 11 月に計 4 回の連続講座を実施

○新潟県立大学

「2013 年 新潟県立大学サマーセミナー『グローバル化と地域発展』

～新潟水俣病からグローバル化までの地域の歴史と発展を考える～」

北東アジア地域の 3 大学及び新潟県立大学の学生が参加するサマーセミナーにおいて、新潟水俣病語り部との交流等を実施し、参加学生に新潟水俣病の発生とその克服の過程並びに現状を理解させ、もって北東アジア地域の経済成長に伴う環境汚染等の改善及び防止に新潟県の経験を活かすための情報発信の場とする。

- ・ 8 月のサマーセミナーにおいて、特別講義、現地学習、語り部との交流、グループワーク・成果発表を実施
- ・ 成果発表会の記録を整理し、記録集を整備予定

○新潟医療福祉大学

「総合的な新潟水俣病患者支援プログラム推進事業

一次世代を担う学生（ＱＯＬサポーター）の育成」

「学生による支援ボランティア養成に向けた体験学習プログラム」により、今まで



(講座の様子)

以上にボランティア実現に向けた展開を行うと同時に、若い世代による総合的な患者支援プログラムを開発・推進を図る。

- ・12月4日に新潟水俣病患者との交流を実施
- ・水俣市での現地学習の取組や学生によるボランティア支援を実施予定
- ・上記のほか、取組の成果を広く県民へ発信するための「事業報告会」開催、「事業報告書」作成を予定

【H26年度】

○3団体3事業に補助（公募）

〔補助事業〕

○新潟大学

「新潟水俣病の教訓を伝える人材育成プログラム」

新潟水俣病を正しく理解し関心をもつ一助とするため、学生を対象とする連続講座を開催。新潟水俣病の教訓を伝える。

- ・10月から12月にかけて、講義、阿賀野川流域現地学習、水俣市訪問及び報告会を実施

○新潟県立大学

「新潟水俣病学びのポータル設置事業」

水俣病及び発生地域の環境に対する理解を深めるため、新潟水俣病資料館及び水俣市を訪問する現地学習やベンチ製作により、水俣病患者・支援者と積極的に交流を図り、地域環境を見直す機会を設ける。

また、学生が自然に新潟水俣病に関する知識を習得し、かつ阿賀野川流域のもつ豊かさを実感できるよう、自主学習の場《Self-Access Learning Center (SALC)》に新潟水俣病関連情報コーナーを設置し、学習成果を展示する。

- ・8月のサマーセミナーにおいて現地学習を実施
- ・水俣市への訪問及びその報告会を実施
- ・患者団体関係者と本学学生との交流及び情報発信拠点備品の製作
- ・記録集を整備、発行を予定

○新潟医療福祉大学

「総合的な新潟水俣病患者支援プログラム推進事業

—次世代を担う学生（QOLサポーター）の育成—」

「学生による支援ボランティア養成に向けた体験学習プログラム」により、今まで以上にボランティア実現に向けた展開を行うと同時に、若い世代による総合的な患者支援プログラムを開発・推進を図る。

- ・11月26日に阿賀野市において新潟水俣病患者との交流を実施
- ・水俣市での現地学習を実施予定
- ・取組の成果を広く県民へ発信するための「事業報告会」開催、「事業報告書」作成を予定



(新潟医療福祉大学の交流：阿賀野市)

【H27 年度】

○ 3 団体 3 事業に補助（公募）

〔補助事業〕

○新潟大学

「新潟水俣病の教訓を伝える人材育成プログラム」

新潟水俣病を正しく理解し関心を持つ一助とするため、学生を対象とする連続講座を開設。新潟水俣病に関する問題意識を涵養するとともに、教訓を未来に語り継ぐ主体的な取組を促す。

- ・ 10 月から 12 月にかけて、講義、阿賀野川流域現地学習、水俣市訪問及び報告会を実施



(新潟大学の講義、現地学習の様子)

○新潟県立大学

「新潟水俣病情報発信の活性化」

水俣市における水俣病の情報発信施策等を新潟水俣病の情報発信につなげることができないか、講義や訪問を通じて考察を行う、フィールドワークを取り入れた授業を開設。

学生が自主的かつ自然に新潟水俣病に関する知識を修得し、また、阿賀野川流域の持つ豊かさを実感できるよう、昨年度に設置した自主学習の場《Self-Access Learning Center (SALC)》の新潟水俣病関連情報コーナーを活用しながら、継続的かつ恒久的な学習を可能とする。

- ・ 水俣市への訪問及び報告会を実施
- ・ 阿賀野川流域にて現地学習を実施

- ・大学祭における展示発表を実施
- ・記録集の作成、発行を予定

○新潟医療福祉大学

「新潟水俣病と共に生きる社会づくり推進事業

一次世代を担う学生（QOLサポーター）の育成ー」

小学生・中学生・高校生・大学生などの若い世代が「新潟水俣病と共に生きる社会づくり」に連携して取り組む機会を設けるなど、新潟水俣病を取り巻く現実への理解の推進を図る。

- ・11月25日に阿賀野市において新潟水俣病患者との交流会を実施
- ・水俣市での現地学習を実施予定
- ・取組の成果を広く県民へ発信するため、事業報告会の開催、事業報告書の作成を予定

【H28年度】

○3団体3事業に補助（公募）

〔補助事業〕

○新潟大学

「新潟水俣病の教訓を伝える人材育成プログラム」

新潟水俣病を正しく理解し関心を持つ一助とするため、学生を対象とする連続講座を開設。新潟水俣病に関する問題意識を涵養するとともに、教訓を未来に語り継ぐ主体的な取組を促す。

- ・6月は教養科目として、10月から12月にかけては専門科目として、講義、阿賀野川流域現地学習、水俣市訪問及び報告会を実施



（阿賀野川流域学習の様子）

○新潟県立大学

「新潟水俣病情報発信の高度推進」

世代を越えて新潟水俣病を語り継ぐための研究と教育を通じた人材育成のため、水俣病について学ぶフィールドワークを取り入れた授業を開設。

学生が自主的かつ自然に新潟水俣病に関する知識を修得し、また、阿賀野川流域の持つ豊かさを実感できるよう、一昨年に設置した自主学習の場《Self-Access Learning Center (SALC)》の新潟水俣病関連情報コーナーを活用しながら、継続的かつ恒久的な

学習を目指す。

- ・水俣市への訪問及び報告会を実施
- ・阿賀野川流域にて現地学習を実施
- ・大学祭における展示発表を実施
- ・記録集の作成、発行を予定

○新潟医療福祉大学

「新潟水俣病と共に生きる社会づくり推進事業

—次世代を担う学生（QOLサポーター）の育成—」

学生による患者支援と地域で新潟水俣病患者を支える社会づくりに向けた地域貢献活動の基盤づくりを行う。患者同士並びに患者と学生との交流を促進し、患者が気軽に集まることのできる場の形成や、社会参加に向けた意欲を醸成する。

- ・水俣病患者との座談会を実施。
- ・水俣市での現地学習を実施
- ・取組の成果を広く県民へ発信するため、事業報告会の開催、事業報告書の作成を予定